

勇気、そして感謝 ～わたしたちのチャレンジ～

3年前の第10回は無観客での演奏会でした。アンコールのつもりで歌った「春に」(信長貴富作曲)の演奏を最後に、新型コロナによって私たちの活動も停止。日本中で合唱活動の危機が長く続きました。今回はまず、その曲をオープニング曲として再演します。

また、初代常任指揮者である重松秀子(現・名誉指揮者)は、本人選曲の渾身の1曲を振ります(どの曲かはお楽しみ)。

つくりあげる わたしたちのうた

今回、楽音樹として初めての委嘱作品、そして初演に取り組みます。しかも人気作曲家、山下祐加先生の作品です。

打ち合わせが実現したのは2019年秋、東京・上野でした。数ヶ月後に提示された詩は、宮澤章二氏の「勇気の系譜」。東日本大震災の際、テレビCMで流れていたフレーズ、「胸の中の〈思い〉は見えないけれど、〈思いやり〉は見える」を覚えておられる方も多いでしょう。当時、私たちの誇りを再認識させてくれた詩人こそ、今回の宮澤章二氏です。

その後山下先生が、宮澤氏の複数の詩集の中から詩を選んでくださり曲が完成したのですが、練習もままならず、初演まで随分時間がかかったこととなります。

色彩豊かな山下先生の音楽によって、「言葉」がいのちを吹き込まれたかのように私たちに迫り、コロナ禍で藻掻いていた私たちを励ましてくれました。

教師でもあった宮澤氏が若者に向けて綴ったメッセージの数々。私たちはそれを「受け取る側」でもあり、この演奏会では「伝える側」でもあると思っています。

客演ピアニストは、山下祐加先生からの信頼も厚い竹内佳代さんにお願ひできました。

そして、初めてとなる、真新しいオーバードの中ホール、楽しみがいっぱい。団員一同、感謝です。(常任指揮者 森井 淳)



ゲスト・作曲家 山下 祐加

東京藝術大学音楽学部作曲科を経て、同大学大学院音楽研究科作曲専攻修了。作曲を尾高惇忠、日野原秀彦の各氏に師事。

2011年、オラトリオ『李陵』を初演。2014年、混声合唱組曲『ねむりのもりのはなし』で第25回朝日作曲賞を受賞。2019年、第2回東京国際合唱コンクール(室内合唱部門)の課題曲『雪』を作曲。2020年発売のCD『山田和樹 アンセム・プロジェクト 世界の国歌』において編曲を担当。2021年、和歌山市民オペラ協会の委嘱によるオペラ『稲むらの火の物語ー梧陵と海舟』を紀の国わかやま文化祭2021にて初演。(この公演は第20回佐川吉男音楽賞を受賞。)合唱曲、ピアノ曲、管楽器アンサンブル作品等が出版されている。



合唱団「楽音樹」(代表 津田 朋信)

2009年1月に結成し、富山市を中心に活動中。さまざまな年齢が集まり、仲間とのつながりを大切にしています。

技術的には未熟ですが、キホンは楽しむこと。その中で高みを目指しいろいろなチャレンジもしてきました。

これまで、10回のコンサート開催やコンクールの出場(中部大会銀賞)の他、児童合唱とのコラボ、校歌や富山県「ふるさとの空」CD録音、国民文化祭(上越市)にも出演。

アマチュアらしく好きなことを求め、いろいろな先生方のご指導を受けながら、これからも成長を続けたいと思っています。

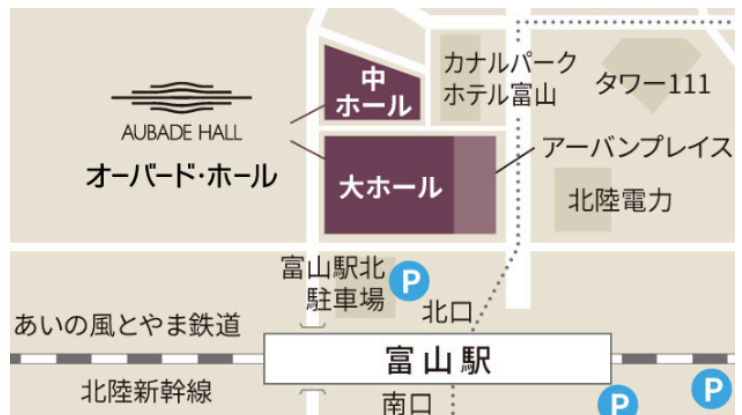
懇親会である「楽音酒」も大きな楽しみです。



練習：第2,4,5日曜
13:30~16:30
富山市芸術創造センター
団費：月1500円(楽譜代別途)
見学：いつでも歓迎

※練習日はホームページで確認を!

がくおんじゅ



www.gakuonju.com

お問い合わせ info@gakuonju.com



表の絵画：「目覚めの時」(アクリル水彩画)

ギャラリーオーナメント工房 KoFu

(長野県白馬村在住)

